

10月ぶりの校長通信と

なりましたことを、まずはお詫びいたします。最初から「不定期」と言い訳はしたものの、あまりにも間が空いてしまいました。

さて、その間、文化祭の作品作りや遠足などを終え、6年生は修学旅行(都城、日南、西都、宮崎方面)も無事終えることができました。御理解と御協力、ありがとうございました。

コロナも少し落ち着いて年の瀬を迎えられるかな・・・と思いきや、一波、二波どころではない状況となりまして、感染は小学生や中学生にまで広がり、「足下まで迫っている」恐ろしさを感じているところとです。インフルエンザも合わせて警戒する時期となりました。マスク、手洗い、3密を避ける・・・今まで以上に気を締めて！

ふと見かける子どもたち

少し前ですが、ある日本の映像が中国で大きな反響をよんでいるというニュースを目にしました。

その映像とは、田舎の道路で車から撮られた映像です。

それには、横断歩道を渡りかけた小学生の女の子が、停止してくれた運転手に深々と頭を下げて去って行く様子が写っていました。

それを見た中国の人たちは、その行動に大変驚き、「やはり日本の文化はレベルが高い。」と評し、子どもたちに言いつて聞かせたそうです。

しばらくすると、中国の子どもたちが競うように実践する映像が、次々と流れるようになったとか・・・。巨大な中国でどれだけ広がったのか、その信憑性に自信はありませんが、日本人としては、なんとなくうれしい・・・。

この話題は子どもたちにも紹介し、「南小学校の子どもも、褒められるといいね。」と期待しているのですが、簡単ではなく、逆に危ない行動で

おしかりを受けることも・・・。粘り強くなればりましょう。

もう一つの話。これは私が見かけたよその子です。休日の昼食にうどん屋さんに入りまして。なかなかの混みようでしたが、私が座ったのはフロア全体が見渡せるテーブル席。しばらくすると、向こうに見える小上がりの座敷が空きました。店員さんに案内されて向かったのはご家族一行。まずはお父さんが先頭、後には小学校高学年と思

われるお兄ちゃんを頭に第二人。さぞかし賑やかなご家族でお母さんも大変だろうなどと思いつつ、何となく眺めておりました。

ご家族五人が仲良くメニューを囲んでいる様子が窺えたころ、ふとある物が目に入って「はっ」としました。30cmほどの小上がりの下には、5人分の靴が整然とつま先をこちらに向けて並んでいるのです。失礼ながら一部始終を見ていた私ですが、お父さんが子どもたちに口うるさく言い聞かせていた様子はなかつたし、最後に上がったお母さんが子どもの靴を並べた様子もありませんでした。三人の元氣盛りの男の子たちは、ごくごく自然な振る舞いで靴をそろえていたのです。名前も知らない○○家では、当たり前文化なのでしょう。恐れ入りました。彼らは、これからどこに行っても靴のことで「だらしない。」と思われることはないでしょう。彼らにはもう、一生もののすてきな力が備わっている・・・そう感じました。

まずはご相談を 今回の新型コロナウイルス感染症の拡大は、宮崎県も今までとは違う勢いで広がっています。ご家族の行動歴や家族の外出先など、間接的でも子どもたちへの影響が心配される場合には、遠慮無く学校までご相談ください。

「学校スナップ」

6年生食育活動

kokoya de 小林 地井シェフのお話



とても眺めの良い小林駅の2階が会場。
当日は少し曇りがちでしたが、
小林ならではの景色と味を
同時に楽しみました。さて、お味は・・・。

歳末助け合い募金の贈呈をおこないました。



中央は、市社会福祉協議会会長の吉丸政志さんです。
このような活動を通して、子どもたちには社会との関わり
に関心をもってほしいと思います。御協力ありがとうございました。

※ スナップに関する情報や学校の思い出話など、遠慮無く学校までご連絡ください。
学校の毎日の様子や行事予定など、

「南小学校のホームページ」もどうぞご覧ください。